

平成 30 年 4 月 27 日（金）
国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

記者発表資料

平成 30 年度 鹿島港湾・空港整備事務所の事業概要について

平成 30 年度の鹿島港湾・空港整備事務所の主な事業概要は以下のとおりです。

1. 鹿島港については、近年の貨物船の大型化等に対応するとともに大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナルを整備しており、平成 30 年度は、防波堤（南）のケーソン据付、航路・泊地（水深 14m）の浚渫等を実施する予定です。
2. 茨城港常陸那珂港区については、北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まった海上輸送需要の増大に対応するため、国際海上コンテナターミナル及び国際物流ターミナルを整備しており、平成 30 年度は、防波堤（東）のケーソン据付、岸壁（水深 12m）のケーソン据付等を実施する予定です。

鹿島港湾・空港整備事務所ホームページ URL <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kashima/>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、物流専門紙

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所
副所長 奈良 智（なら さとし）
第一工務課長 齋田 伸一（さいた しんいち）
TEL 0299-84-7712
FAX 0299-84-0057

鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業

H30年度事業費：44.1億円

【茨城県】直轄

事業の概要

鹿島港は国内有数の鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の輸送基地として発展し、東関東内陸部の玄関口としての重要な物流機能を担っています。近年の貨物船の大型化等に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際物流ターミナルを整備しています。

平成30年度予定

○防波堤(南)のケーソン据付工及び航路・泊地(水深14m)の浚渫工等を実施する予定です。

事業の効果

- 防波堤の延伸を行うことにより港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。
- 国際物流ターミナルの整備により大型船によって、海上輸送コストの削減等が可能となります。
- 耐震化により、大規模地震発生後も緊急物資等の輸送拠点として機能します。



茨城港常陸那珂港区外港地区国際海上コンテナターミナル等整備事業

H30年度事業費:9.1億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。コンテナ貨物量等の増加に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際海上コンテナターミナル等を整備しています。

平成30年度予定

○防波堤(東)のケーソン据付工等を実施する予定です。

事業の効果

○防波堤の延伸を行うことにより港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。

○茨城港常陸那珂港区におけるコンテナ等取扱能力の向上が図られます。

○北関東地域の企業が茨城港常陸那珂港区を利用することで、効率的な海上輸送が可能となります。



事業の概要

茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。北関東地域に立地する自動車メーカーの完成自動車の増産に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際物流ターミナル(水深12m)を整備しています。

平成30年度予定

○岸壁(水深12m)のケーソン据付工等を実施する予定です。

事業の効果

- 完成自動車取扱台数の増加と自動車運搬船の大型化に適切に対応することにより、北関東地域からの完成自動車の海上輸送コストの削減等が可能となります。
- 完成自動車や部品等含めた広範な関連産業における国内生産機能の維持・拡大に寄与します。

